

第208回 河川文化を語る会

参加
無料

22世紀奈佐の浜プロジェクトの軌跡とこれからの展望 ～豊かな伊勢湾をめざして～

22世紀奈佐の浜プロジェクト

講師

プロジェクト代表

プロジェクト副代表
四日市大学教授

こうら かもん
小浦 嘉門 氏
ちば さとし
千葉 賢 氏

講師から一言

伊勢湾に流出する海洋ごみは年間1万トン以上に及び、その大半が鳥羽市及び答志島に漂着します。それは、大きな漁業被害となっており、2012年に答志島の漁師さんからのSOSを受けて「22世紀奈佐の浜プロジェクト」が始まり10年が経ちました。

奈佐の浜の海岸清掃活動を通じて流下ごみ、漂着ごみの現状を検証し、伊勢湾の再生を図っていますが、かつての豊かな伊勢湾は重大な危機に瀕しており、まだまだ十分な改善に至っていません。

プロジェクトの今までの軌跡をふり振り返りつつ、伊勢湾の現状を流域圏市民で共有し、今後どのように展開していくべきかをみんなで議論したいと思います。

日 時

2023年3月19日(日)

14:00～16:30 (会場受付開始13時30分)

会場開催

ウインクあいち(愛知県産業労働センター)
12F「1202会議室」

定員100名

※お申込み後の参加票の送付等はありません。直接会場へお越しください。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によってはライブ配信のみの開催となります。あらかじめご了承ください。

ライブ配信

Zoom ウェビナー

定員100名



小浦 嘉門 氏

22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会の代表。
答志島桃取地区の漁師であり、彼のSOSからプロジェクトが始まる。



千葉 賢 氏

プロジェクト委員会の副代表であり、四日市大学環境情報学部教授。
海の動態、挙動が専門。



申込受付フォーム

【主催】公益社団法人 日本河川協会

【共催】愛知・川の会

【協力】22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会

【後援】国土交通省中部地方整備局
環境省中部地方環境事務所
愛知県

伊勢湾総合対策協議会海岸漂着物対策検討会
(三重県、愛知県、岐阜県、名古屋市)
全国川ごみネットワーク

申込締切：3月13日(月) 17時まで(先着順)

受付フォーム

おもて面のQRコードを読み取って、受付フォームからお申し込みください

メール

kataru@japanriver.or.jp 下記の必要事項を記載して送信してください

FAX

03-3288-2426 下記にご記入の上、そのまま送信してください

ふりがな 氏名	(日本河川協会の) 二種正会員 ・ 一般		
連絡先 E-mail または TEL	所属 (記入は任意)		
職種 いずれかに○	a. 建設コンサルタント b. 建設会社 c. その他民間企業 d. 行政 e. 財団/社団 f. NPO等川や水の活動 g. 学生 h. その他 ()		
参加方法	会場 ・ オンライン	CPD 受講証明書	必要 ・ 不要

お願いとお知らせ

【会場参加の皆さまへ】

- ・天候や新型コロナウイルス感染拡大の状況により、やむを得ず中止する場合は、当協会のホームページでお知らせいたしますのでご確認ください。
- ・発熱のある方や軽度であっても咳、咽頭痛などの症状がある方はご参加をお控えください。
- ・会場では必ずマスクの着用をお願いいたします。また、手洗い・手指消毒の徹底など、感染拡大防止にご協力ください。

CPD認定 2.4単位



当講演会は土木学会継続教育(CPD)プログラムに認定されています。

- ・お申込み時に受講証明書を希望された方に、講演会終了後、会場受付にて証明書を発行いたします。
 - ・オンライン参加の方は、参加して得られた所見(学びや気付き)をアンケート回答フォームより作成、送信ください。その後証明書をメール送付いたします。
- なお、土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は、提出先団体に事前にご確認ください。
※他団体が運営するCPD制度に関する内容については回答いたしかねます。予めご了承ください。

会場アクセス

ウインクあいち 名古屋市中村区名駅4-4-38

■JR名古屋駅桜通口から

ミッドランドスクエア方面 徒歩5分

ユニモール地下街5番出口 徒歩2分

お問い合わせ先



公益社団法人 日本河川協会 (担当: 小島)

東京都千代田区麴町2-6-5 麴町E.C.ビル3F

TEL: 03-3238-9771 FAX: 03-3288-2426

E-mail: kataru@japanriver.or.jp

河川
基金当講演会は、公益財団法人河川財団による
河川基金の助成を受けています